

173. Pseudo-regular function, 應用

角谷 靜夫 (阪大)

128, 136 で述べた pseudo-regular + 函數 = \exists ール transformation \neq Riemann 面, 問題 = 應用シテ見マシタ。

136 で考へた pseudo-regular function

$f(z) = u + iv$ ハ u_x, u_y, v_x, v_y が $f(z)$ の定義領域 D 全体で連続デアツタが D が有限個又ハ可附番無限個, 部分領域 = \exists カレテソノ各々 = テ u_x, u_y, v_x, v_y が連続デアツテモ同様ノコトが成立スル。(u, v が連続デアルコト及ビ條件 (ii), (iii) ハ D 全体 = テ満足サレテキルモノトスル)

ρ \neq $0 < \rho < 1$ ナル實數トスルトキ, 任意 =

$$|\alpha| \leq \rho$$

ナル α \neq 與ヘルト

$$f(0) = \alpha,$$

$$|z| = 1 \Rightarrow f(z) = z$$

ナル如キ $|z| \leq 1 = \tau$ pseudo-regular \Rightarrow 且 $q(x, y) < K(\rho)$
 ナル函数 $f(z)$ が存在スル。コゝ = $K(\rho)$ ハ ρ ノミニ關係スル
 正数デアアル。

更ニ一般ニ D ヲーツノ領域 D' ヲ全ク D 内ニアル D ノ部
 分領域トスルトキ、 D' 内ノ任意ノ点ヲ他ノ D' 内ノ任意ノ点ニ
 移シテ且ツ D ノ周ヲ少シモカヘナイ D 自身ノ schlicht ナ
 pseudo-regular ナ transformation $= \tau$
 $q(x, y) < K$ ナルモノが存在スル。コゝ = K ハ D, D' ノ形ノ
 ミニ關係スル正数デアアル。

定理1. q が有界ナ pseudo-regular ナ函数
 $w = f(z) = \exists$ ツテ $|z| < \infty$ ハ $|w| < R < \infty$ ニ寫像スルコ
 トハ出來ナイ。

コレハ 136 号定理6ノ特別ノ場合デアリマス。

コレヨリ次ノ定理が得ラレル。

定理2. 單一連結ナ Open ナ Riemann 面 Σ ヲ q
 が有界ナル如キ pseudo-regular ナ函数 $= \exists$ ツテ (同
 シク) 單一連結ナ Riemann 面 $\Sigma' = \text{topologically}$
 $= \text{transform}$ シテモ Riemann 面ノ type (hy-
 perbolic デアルカ parabolic デアルカ) ハ 変ラナイ。

Σ 全体が變形サレナクテ、ソノ一部分ダケ變形サレテモ
 ヲイ。

即チ Σ ノ上ニ (Riemann 面ノ上ヲ考ヘテ) 互ニ他

ノ外部 = アル有限個又ハ可附番無限個ノ領域 D_i (必ずシモ
 単一連結デナクテモヨイ。又 Σ ノ上 = テ互ニ他ノ外部 = ア
 シバヨイノデアルカラ *projection* ハ重ナツテキアモヨイ)
 ヲ取り、各 D_i ノ内部 = g が (i = 無関係ナ) K ヲ越
 ヘナイヤウナ *pseudo-regular Transformation*
 ヲ施シテモ Σ ノ *type* ハ変ラナイ。

D_i トシテ Σ ヲ (*projection* 上ノ) 閉曲線 $C_i =$ ヨ
 ヲツテ切り取ツタトキノ連結シタ部分ヲ取り前ノ *lemma* ヲ
 用ヒルト次ノコトガ云ヘマス。

$0, 1, \infty$ ノ上 = 無限 = 多クノ *logarithmic singu-*
larity ヲ持ツ *Riemann* 面 Σ (例ヘバ *modular-*
function ノモ) ヲ *deform* シテ Σ 上ノ *log. singl.*
 ヲ各々異ナル方向ヘ少シズラシテモ、ヤハリ *hyperbolic*
 デアル。

(コレハ *Speiser* ガ考ヘタ問題デア。 *Commentarii*
Math. Helv. Vol 1, (1929) *Probleme*....., §6)

Σ ノ *log. singl.* ヲズラシテ行クトキ、コレラガ夫々
 $0, 1, \infty$ ヲ内部 = 含ソデ且ツ互ニ他ノ外部 = アル三ツノ領
 域 E_1, E_2, E_3 ヲリ外ニ出ナイトキハ *Ahlfors* ガ証明シ
 テ居リマス。 (*Acta Soc. Scient. Fennicae*, 1933)

又次ノ *Ahlfors* ノ定理モアル制限ノ下デ証明スルコ
 トガ出来マス。

Ahlfors = ヲレバ Σ ガ *parabolic* デアルトキ

Σ を (球面) 上ニテ考ヘル) 互ニ他ノ外部ニアル5個ノ円
 C_i ($i=1, 2, \dots, 5$) ニテ切レバ切口ニハ少クトモ一ツ單
 葉ナモノガアル。

今若シコノ切口ガスベテニ枚ヅツツナガツテキルトスレ
 バ Σ ガ *hyperbolic* ニアルコトハ次ノ様ニシテ証明出來
 ル。

C_i ト同心ナ円デ且ツコレヲ内部ニ含ミ、シカモ互ニ他
 ノ外部ニアル用 C_i^* ($i=1, 2, \dots, 5$) ヲ考ヘ C_i^* ヲ lemma
 ニテ考ヘタ函数ニヨツテ *transform* シテ C_i 内ニアル Σ
 ノ代数的分岐点ヲ C_i ノ中心ヘタツス。

カクシテ得ラレタ Σ' ハ *Carathéodory-Block* ノ
 定理ニヨツテ *hyperbolic* デアルカラ $\Sigma \in$ *hyperbolic*
 デナケレバナラヌ。

C_i ガ一般ノ閉曲線デアル場合モ同様デアリ、 C_i ニヨ
 ル切口ガ常ニ2枚デナクテモ枚数が有界デアレバ同ジコトガ
 証明出來マス。(有限枚ヨリナル *Riemann* 面ニ関スル前
 ノ lemma ト同様ノ lemma ヲ用ヒマス)

更ニ一般ニ g 個ノ互ニ他ニ交ハラヌ閉曲線 C_i ($i=1, 2, \dots,$
 \dots, g) ニヨツテ Σ ヲ切ツタトキ、 C_i ニヨル切口ガ常ニ
 少クトモ m_i 枚ツナガリ且ツ

$$\sum_{i=1}^g \frac{1}{m_i} < g-2$$

デアレバ Σ ハ *hyperbolic* デアルト云フコトガスベテ

、 C_i = ヨル切口ノ枚数が有界デアレバ同様ノ方法ヲ証明出來マス。